

# IoTプラットフォームビジネス・エコシステム構築手法の提案 ～QFD, SCAIグラフの拡張によるプラットフォーム分析～

ホーチキ株式会社 矢頭 岳人

## プラットフォーム・エコシステム構築の課題

プラットフォーム化による産業の発展が期待され、様々なプラットフォームビジネスとそのエコシステムの拡大が進んでいる。しかしながら、QFDやビジネスモデルキャンバスなどの古くから利用されている設計手法は、プラットフォームビジネスやエコシステムの構築を想定したのではなく、そのまま適用できないケースがある。

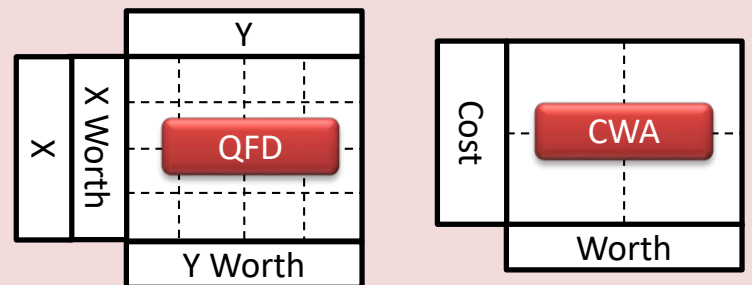
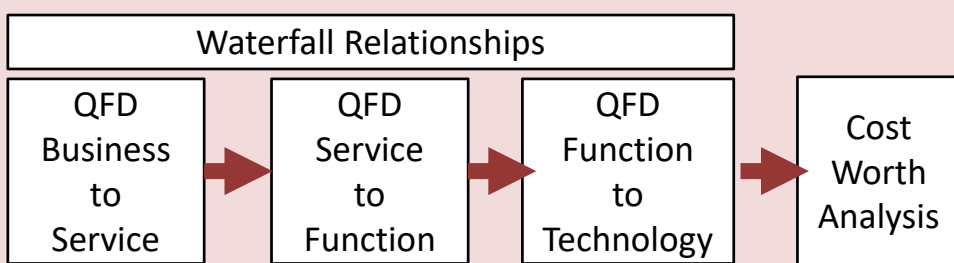
## 構築手法の提案による解決

IoTイノベーションデザイン手法をベースにして、プラットフォームに対応させた方式を提案する。  
 ・QFDにより、ビジネス、サービス、機能、テクノロジーの関連と重要度を分析する。  
 ・SCAIグラフの集約により、プラットフォーム全体の価値を明確化する。  
 ※エコシステムについては、八十岡氏が担当

## QFD, SCAIグラフの拡張によるサービスと提案価値の分析

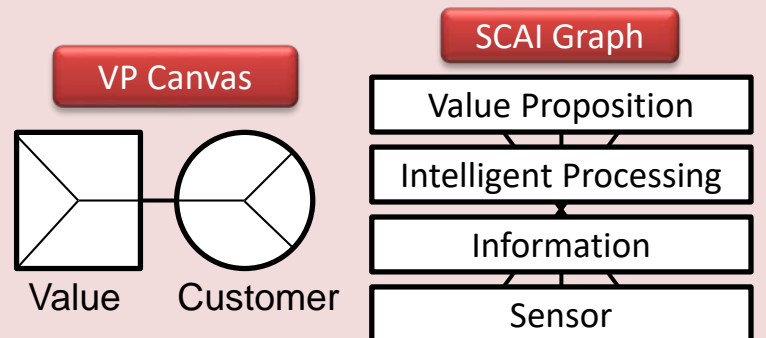
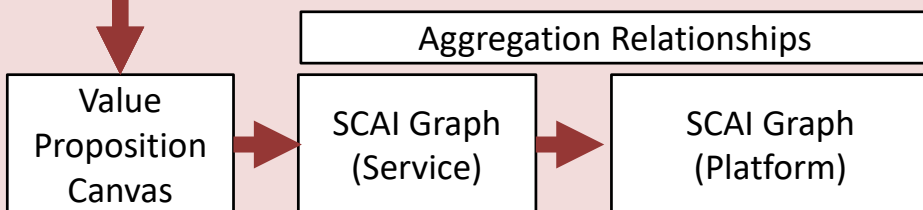
### 【サービスの抽出と分析】

三段階のQFDを行い、ビジネス、サービス、機能、テクノロジーの重要度と関係性を分析する。

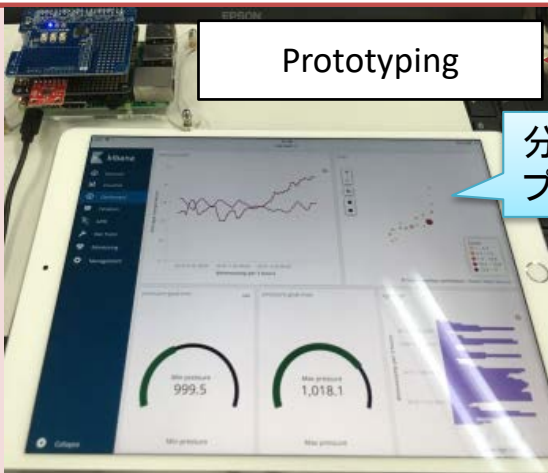


### 【プラットフォーム価値の明確化】

SCAIグラフを集約し、全体の価値創出を可視化する。



### Prototyping



分析結果に基づいた  
プロトタイピング

## まとめ

各作業の手順と必要なチャートを示すことにより、作業者のスキル依存を減らす。そして、作業内容を可視化・共有することにより、気づきの機会を増やすことができる。ビジネス～テクノロジーまでの各レイヤの整合を取りながら分析することで、単一のサービスではなく、複数のサービスが運用されるプラットフォームに対応可能となる。